

東京農業大学



湘南稲桜会だより

発行 東京農業大学 校友会神奈川県支部 湘南稲桜会 発行責任者 松居靖雄
事務局 〒238-0032 横須賀市平作 4-1-9 清水圭一方 TEL 046-854-0044

＜第19回総会開催される＞

平成27年5月23日（土）午後2時よりホテルハーバー横須賀にて来賓5名、会員23名が出席して、第19回神奈川県支部湘南稲桜会定期総会が開催された。

小清水副会長の司会により、梅澤顧問の開会のことば、松居会長のあいさつ、来賓の紹介の後議案審議に入った。

平成26年度事業報告・収支決算報告、平成27年度事業計画・収支予算案について審議し異議なく原案通り承認された。

次に来賓を代表して竹内支部長より挨拶と大学の近況などについてお話をいただいた。

第2部の記念講演は、東京農業大学地域環境科学部造園科学科の濱野周泰教授にお越しいただき「鶴岡八幡宮大イチョウ・段葛を事例とした文化



的遺産の取り扱い」と題して講演をいただきました。鶴岡八幡宮の大イチョウは「たより24号」で投稿記事が掲載されましたが、平成22年3月に倒伏しその復元に母校東京農業大学の濱野教授があたりれました。また現在改修工事中の鶴岡八幡宮



へと続く段葛についても教授がご指導にあたられており大変興味のある講演でした。文化財保護法の枠内での復旧・整備、地元関係者との調整等植物の生理学的な対応以外にご苦労されている状況を部外者である私たちは知る事が出来ました。身近な場所での内容であったため、校友以外の参加もあり有意義なお話でした。



記念講演終了後一同で記念撮影を行い、関副会長の司会により第3部の懇親会に移り、松居浩一会員（H10 学工）の発声による乾杯の後來賓を囲んで和やかに懇談し、来賓の祝辞、出席者全員の自己紹介と近況報告の後に中山会員（H3 学農）の音頭により、学歌を斉唱し、午後6時散会した。来年は当会創立20周年の総会になります、多くの会員の皆様の参加をお待ちしております、ぜひご出席下さるようお願いいたします。

参加の下嶋武志幹事より一句

社樹倒れ公暁も明日はホームレス

（事務局）

＜地区からのたより＞

—三浦地区から—

神奈川県内の農業高校について

川名昌雄 （S48 学農）

私は現在も再任用教員として、平塚農業高等学校初声分校に勤務しています。皆さんは神奈川県内にある農業高校についてどれ位ご存知でしょうか？今回地区からのたよりが三浦からということで、今まで勤務していました神奈川県内の農業高校のことについて、その概要を紹介しますので参考にいただければと思います。

県内には四つの農業高校と一つの分校があります。

一つ目は、相原高等学校です。相模原市緑区橋本にあり、畜産科学科、食品科学科、環境緑地科、総合ビジネス科（会計ビジネス科、国際ビジネス科、情報ビジネス科）があり、農業と商業が3クラスで、1学年6クラスです。大正12年創立、昭和29年現在の相原高等学校と改称する。橋本駅南

口のすぐ前にあり、リニアの駅ができる関係で近く移転の予定がある。

二つ目は、吉田島総合高等学校です。足柄上郡開成町吉田島にあり、総合学科です。1学年5クラス規模です。明治40年創立昭和23年吉田島農林高等学校と改称。平成22年吉田島総合高等学校として開校。現在も演習林29ヘクタールがある。

三つ目は、中央農業高等学校です。海老名市中新田にあり、園芸科学科2クラス、畜産科学科1クラス、農業総合科2クラスで1学年5クラスです。明治39年創立、昭和11年県立愛甲農業学校と改称。昭和40年中央農業高等学校として開校。同年文部省より自営者養成農業高等学校に指定される。昭和41年寄宿舎竣工。現在は寄宿舎の寮運営は廃止。

四つ目は、平塚農業高等学校です。平塚市達上ヶ丘にあり、園芸科学科2クラス、食品科学科2クラス、農業総合科1クラスで1学年5クラスです。明治19年創立。昭和23年県立平塚農業高等学校と改称。

五つ目は、平塚農業高等学校初声分校です。昭和25年に三浦半島地域の農業の担い手を育成する目的で三浦市初声町和田に創立。園芸科学科1クラスの昼間定時制高校です。

このように、県内の農業高校では約2,600名の生徒がそれぞれの学科で目的をもって学習しています。

先の総会の講演で中央農業高校の竹内先生が紹介してくれました生徒の研究活動報告のように、農業高校の生徒が全員加入している農業クラブの活動で園芸、食品の製造・加工、畜産、環境保全などに関することについてテーマを持って取り組んでいます。その成果は農業クラブの県大会において発表し良い成績の人たちは関東大会や全国大会において発表を行います。

また、毎年農業高校の卒業生の10～20名位が世田谷、厚木、オホーツクキャンパスに進学しています。

＜校友会神奈川県支部総会結果＞

平成27年度東京農業大学校友会神奈川県支部総会が9月5日午後1時から厚木キャンパスにおいて開催された。来賓として校友会から三好吉清会長、大学から矢口行雄教授、馬場正教授、財務部募金課小林順課長が出席し、県支部は竹内伸一会長以下会員58名が参加した。湘南稲桜会からは松居会長以下8名が参加した。

竹内支部長の挨拶の後、審議に入り議案は、「会則及び諸規程の改正」について審議され原案通り承認され、「平成25年度及び26年度会務並びに収

支決算報告」、「役員改選」について報告された。会則の改正については、その主なものは、会の名称であった、故青木副会長が以前より、東京農業大学校友会会則に定められた名称「東京農業大学校友会神奈川県支部」（現在は東京農業大学神奈川県校友会）にすべきと機会あるごとに発言していたものがやっと役員会で認められることになり、今総会の議決により決定したものである。県支部の運営・役割、地域支部との関わり等について改善していくために会則を今後も改正する必要があるが、とりあえずの一步を踏み出すことができた。



役員改選において、松居会長が副支部長に、清水事務局長が幹事長に就任した。県支部総会の詳細は大学校友会のホームページをご覧ください。

<http://www.nodai-koyukai.jp/> (事務局)

<会員の活動紹介>

—私と、ワーカーズ・コレクティブ—

小清水かほる (S 4 6 農経)



約20年前10倍の競争率を突破してヘルパー2級講座の抽選に合格しました。当時は介護保険前だったので、ヘルパー講座はとても人気があった時でした。3カ月の講習終了後、今所属しているワーカーズ・コレクティブサポート横須賀にたどり着きました。まだ単独の事務所を持たず、間借り状態の中で行われている定例会に参加しました。

事業所の動きや、担当している事例報告や困っていることを話しあい、皆が共有している姿がとても印象的でした。中でも私が働く場所はここにしようと思った決定的なことは、代表の揺れるイヤリングでした。なんと躍動的でイキイキして素敵なんだろうと感じ、私もここに身を置けばイキイキ過ごせると思い入会しました。

ワーカーズ・コレクティブという働き方は、皆が出資し、皆が経営に参加し1人1人の生活や条件に合った働き方ができ、地域にあったらいいなおもう「もの」や「サービス」を皆で作りに出していく働き方です。

私が入会してからは、介護保険が開始されるまでの間は、定例会で介護保険の勉強会や、参入をしていくには事業所の体制をどのような形にしていけるのか、メリット、デメリットは…等何回も検討をし「特定非営利活動法人」として法人格を取得し、訪問介護と居宅介護支援（ケアマネ）の事業でスタートしました。もちろん最初から行っている自費のヘルパー事業は「コミュニティ」の事業として存続しています。



同居をしていた父は介護保険がまだない時に、定期的に医師の往診や看護師の訪問で入浴や介護の方法を母と私に教えてくれました。家で看取ることの介護者側の覚悟があるかないかで、援助に対する力の入れ方も違うこともその時わかりました。しかし看取る事今までしたことのないことに対し覚悟を決めることは大変でした。が看取った後、母と二人で見てこれたことや父が最後まで家で、わがままを言って過ごせたことは父にとって最高の旅立ちではなかったかと、私にとっても貴重な体験でした。このような経験もあり、ヘルパーとして多くの家庭を訪問させていただきました。

訪問介護をさせてもらいながら、その人の背景には、歩んできた人生や、その家々での毎日の営みを皆背負って今に至っているのだと思うと、この仕事はやりがいがあり益々好きになりました。その後いろいろな資格を取得し、現在はケアマネの仕事と会の代表をしています。

会は20年間の中で、配食・ファミリーサポート

センター運営・事務所内の広場で行うミニデイ・おしゃべりサロン・介護保険事業の認知症デイサービス・小規模多機能型居宅介護と、「あったらいな」を作ってきました。介護保険は、団塊の世代が75歳を迎える2025年以降担い手は少なくなる中で毎年増加して行くお年寄りの介護をどうするか、新たに総合事業を編み出して来ています。横須賀では来年になると具体的に動きが出てくると思います。

益々地域での助け合いは重要になり、健康寿命と平均寿命を近づけるよう取り組みが行われます。

一番大切なことは、自分の最後をどう迎えるか、言い換えれば残り少なくなっていく毎日をどう過ごしていくかだと思います。今は昔と違い死を語るのタブーではなくなっています。

1人ではなく家族に自分の思いを伝えていくことはとても大切だと思います。

農大が大好きで、農大が末永く持続してる事を願っている稲桜会 楽しく元気で頑張って行きましょう。

＜レシピコンクール最優秀賞＞

7月に横須賀三浦地域県政総合センターが募集した三浦半島特産のトウガン为主题としたレシピコンクールにおいて、当会の江間三恵子監事(S



39学栄)が見事に最優秀賞を受賞しました。

当コンクールは医食農同源の普及と地産地消の推進を目的とし、トウガンをたっぷり使っていることに加え、材料が4人分で2

千円以内、調理時間が60分以内という条件で募集し、29点の中から江間さんの「トウガンの海老・貝柱のあんかけ」が選ばれました。



江間さんはたより32号でも紹介しましたが、「男の料理教室」においても毎月講師をされているほか多くの活動をされています。(清水)

「トウガンの海老・貝柱のあんかけ」のレシピを神奈川県ホームページより抜粋して紹介します。

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/p941046.html>

●材料と分量 (4人分)

・トウガン	500g	・煮汁	
・海老	50g	だし汁	3カップ
・貝柱	30g	砂糖	大さじ1
・生椎茸	30g	塩	小さじ1/6
・オクラ	3本	酒	大さじ1
		味噌	大さじ1
		醤油	大さじ1/2

・かたくり粉 小さじ2

・水 小さじ2

●作り方 (4人分)

- ① トウガンを輪切りにして、皮をむき、わた、種を取り、食べやすい大きさに切る。
- ② 鍋にたっぷりの水を入れ、沸騰したら トウガンを入れて下茹でをする。
- ③ 鍋にだし汁とトウガン、生椎茸、調味料を加えて、紙蓋をして煮る。トウガンは竹串が刺さるまで煮る。トウガンが柔らかくなったら取り出し皿に盛る。
- ④ ③の鍋に海老、貝柱を加えて煮る。煮えたら水溶きのかたくり粉を加え、とろみをつける。
- ⑤ オクラは茹でておき、2等分に斜めに切る。
- ⑥ ③のトウガンの上に④の貝柱、海老と残りの煮汁をかけ、オクラを添える。

＜地区の活動 逗子・葉山地区＞

一昨年からはまった暑気払いは、今年も逗子の鈴木久彌会員(S33学農)のご厚意により3回目を開催することができました。今回は逗子・葉山地区以外の会員にも声をかけ8月29日(土)にバーベキューを行いました。

今年は猛暑が続いたと思ったら数日前から一気に秋の陽気になり日差しがなく天気が心配されましたが雨も降らず実施することが出来ました。

参加者は10名で昨年と同じで、鈴木会員の娘さん鈴木由美会員(H1学造)と関副会長(S50学栄)の準備した手料理、参加者がそれぞれ持ち寄った葉山牛、美味しい日本酒など堪能し、学生時代の農大の校風、学友などについて年月を超えた楽しい思い出話などでのんびりと楽しいひと時を過ごせました。総会や研修会とは一味変わった校友の集まりでした。



会の活動の活性化や会員増強のため良いアイデアがありましたら事務局へお知らせください。

参加の下嶋武志幹事（S45 学造）の一句
菊香る 円居も涼し 時雨風

（事務局）

＜会員からのたより＞

第 19 回総会の出欠席回答はがきに寄せられた会員のたよりをお伝えします。 敬称略

（事務局）

（横須賀地区）

- ・原島 純憲（S26 学農）
元気、退屈、無職
- ・寺井 俊介（S35 学化）
一日一日を大切に楽しく過ごしています。
- ・廣濱 徹（S41 学造）
20 周年に向けて仲間を増やすよう皆さんに呼びかけるようお願いして本年の総会を盛り上げましょう。
- ・菱沼 良平（S48 学経）
用件が重なっており、誠に残念ですが欠席させていただきます。
- ・菊本 充（S58 農経）
2 月 16 日から福岡市（博多）での単身生活が始まりました。
- ・湖水 康史（S62 学農）
変化の大きい天候に苦労しています。
- ・中山 大海（H3 学農）
長女が中学受験をした為に私が合格発表を見に行きました。壁に数字がはり出されるまでの間久々に味わう緊張感でした。
- ・堀江 有二（H3 学林）
部活動のため出席することができません、申し訳ありません。

・原田 義和（H3 短農）

4 月も中旬、一雨ごとに温かくなり相変わらずバタバタしながら仕事してます。総会も研修会も私用や仕事と重なり出席することができていませんが、写真を見ると皆さん元気そうで安心しています。ヒゲを生やし体重も少しへりました。リバウンドする前に皆さんに会いたいです。

・齋藤 道生（H13 学工）

伊豆大島の高校で農業教育に携わりもう 9 年目をむかえました。なかなか総会等に出席できず申し訳ございません。

（鎌倉地区）

・梅澤 稔（S33 学農）

健康で地域活動に参加しております。

・白鳥 武秀（S39 農化）

当日化学研修室関係者の祝事と重なり、出席できません。申し訳ありません。

・磯谷 ゆり子（S48 学栄）

よろしくお願いいたします。

・大川 晶子（S52 学化）

原稿の件ではお手数おかけして申し訳ございませんでした。

・渡邊 文雄（S59 学工）

出張のため欠席させていただきます。
盛会を祈念致します。

・松居 浩一（H10 学工）

今年もカメラマンで参加します。

（逗子地区）

・佐藤 誠吾（S37 学農）

ご案内をいただきありがとうございます。
申し訳ありませんが暫くの間休ませてもらいます。

・関 恵梨子（S50 学栄）

祖母の 10 年祭で母を連れて家族総勢で島根県津和野町へ。今回は雪が降らない事を願っています。墓参の旅です。

・鈴木 由美（H1 学造）

お世話になっております。当日は先に用事が入っており欠席いたします。濱野先生の八幡様の大イチョウの復元のお話し聞くことができず残念です。

（三浦地区）

・池田 尚久（S40 学農）

5/7～5/16 は宮城県女川町、福島県南相馬市、浪江町でのボランティア活動に行っておりま

・臼井 浩 (S41 学林)

現在迄・・・無事；「是れ迷馬」？デスカネ！
自己中（酎）の譚

・川名 昌雄 (S48 学農)

試合間近の部活動指導で大変申し訳ありませんが欠席させて下さい。講演を聞きたかったのに残念です。

＜会員増強のお願い＞

未加入校友に声かけ運動をすすめよう

毎年、会員の加入促進に取り組んでいますが新規加入者は微増にとどまっています。加入の呼びかけは毎年の事業計画（27年目標20名）「湘南稲桜会だより」への掲載、会員・役員の声かけ等、数年にわたり続けていますが実績は芳しくありません。このまま進むと高齢化がすすみ若年層が少なく組織的にも財政的にも危機的状況になりつつあります。将来的に稲桜会が維持・発展してゆくためには新規会員の加入促進が急務であります。ぜひとも、会員皆様の力が必要です。お知り合いの方に声かけし加入をすすめて下さい。校友の絆と伝統ある湘南稲桜会の無限の発展の為に！ 尚、加入グッズとしてカラー刷りの入会案内チラシが事務局にありますので活用して下さい。

(会員増強対策委員会)

＜会費納入のお願い＞

毎度のお願いになりますが、3,000 円の会費の納入をお願いいたします。

会の活動・運営に欠かせない会費であります。未納入の方には郵便振替用紙を同封しましたので、よろしくお願いいたします。(事務局)

＜編集後記＞

湘南稲桜会だより 34 号をお届けします。今年の夏は日本列島北から南まで猛暑、猛暑日が続きある地域では体温より高い観測史上 39 度超えも記録されました。熱中症にならないようにエアコンを求めに大型電気店に行くと多くの人が売場の前で品定めをしていました。代金を支払い受け取り日は 2 週間ごとの事。急激な酷暑に求める人の多いのには驚きました。

国会では他国を武力で守る集団的自衛権行使を柱とする安全保障関連法案が審議されています。最近、「国民の理解が得られなくなった。」「国民の理解が進んでいない。」の言葉を良く耳にする。意味はほぼ同じと思いますが、白紙になったり、ならなかったり、今後この言葉に注意して行きたいと思います。

(M.K)

＜平成27年度研修会開催のお知らせ＞

本年度の研修会スケジュールが下記の通り決まりました。

今回は山中湖・花の都公園、金桜園（ぶどう狩）、白百合醸造の見学を計画しました。

ご家族・お友達お誘いの上ご参加くださいますようご案内申し上げます。今回もバスによるツアーです。

1 日時 平成27年10月18日（日）

2 行程

横須賀→逗子→山中湖・花の都公園→金桜園（ぶどう狩り・昼食）→白百合醸造（工場見学等）→逗子→横須賀

3 集合時間・場所

午前7時30分 横須賀中央 NTT ドコモ前
午前8時 逗子市役所前

4 帰着時間

午後5時30分 逗子市役所前
午後6時 横須賀中央 NTT ドコモ前

5 参加費 7,000 円

6 申し込み 別途はがきにて10月10日（土）まで

*詳しくは別紙研修案内をご覧ください。

尚 又道路事情もありますので帰着時間は前後することをご了承ください。



(花の都公園)